



はじめに

四季の花細工の本をつくろうとなったときに、最初に思い浮かんだのは、花が大好きだった祖母のことと、故郷の海沿いの通学路にたくさん咲いていた野花のことでした。シロツメクサやハルジオンを摘みながら帰ったり、ツツジの蜜を吸ったり、野山で野イチゴやアケビを食べたり。海と山に囲まれた淡路島の故郷は、すぐ近くに大きな自然がありました。

島を出て通った大学のキャンパスには、ヴォーリズ建築を背景に、目を見張るような美しい桜並木があり、結婚して引っ越した家の隣には、秋の始まりを教えてくれる金木犀が植わっていて、息子が通う小学校の通学路には多色の花が咲く枝変わり大きな椿の木がありました。

その時節になるとふと漂ってくる香りや、いつもの道に咲く四季の花は、日々忙しなく暮らす私たちに季節の移ろいを教えてくれ、心を潤し、思わず立ち止まる豊かなひとときを与えてくれます。そして、美しい花を見つけると、大切な誰かに教えてあげたくなくて、一緒に眺めたり、贈りたくなります。

花の造形美は驚くほど緻密で深く、人がたどり着けない自然の美があります。本書では、それぞれの花の造形の中で、私が心惹かれた部分を、水引デザインに丁寧に落とし込みながら作っていきました。尊い日々を彩る枯れない一輪、季節を辿る水引細工を愉しんでいただけますと幸いです。

田中杏奈

もくじ

季節を結ぶ 春 4/夏 6/秋 7/冬 8

日々を結ぶ 気持ちを贈る 10/華やぐ食卓 13/部屋を彩る 14/装いに添えて 15

水引の基礎知識 16

基本となる結び 21 結びと技法のさくいん 31/基本の結びで作るお花 32

花の水引細工

	photo	How to make
桜	4,10	34
ミモザ	5,15	36
カスミソウ	12	37
木蓮	5	38
ラナンキュラス	4,11	40
カモミール	4,11,12	43
ハルジオン		45
カーネーション	4	46
カラー	5,12	48
アンスリウム		49
紫陽花	6,12	50
桔梗	6	53
ツツジ		55
向日葵	6,15	56
笹	6,10	58
金木犀	7,13	60
彼岸花	7	62
吾亦紅	7,12	64
ドングリ	14	65
イチョウ	7,10	66
松	8,14	68
アネモネ	9,14	70
菊	15	73
千両	9,13	74
ヤドリギ		75
椿	8,15	76
梅	9,10	78

アイテムにアレンジ

	photo	How to make
祝儀袋・ぼち袋	10	80
ラッピング	11	83
ブーケ	12	83
カード	12	84
箸飾り	13	84
カーテンタッセル	14	86
ブローチ	15	86
髪飾り	15	87
帯留め	15	87

Column

あわび結びの由来と「のし」 23

残った短い水引を使って 45

菊芯技法でできる表現 47

水引と和紙で作る七夕飾り 59

色づく葉と木の実 65

自分の中の色の記憶で、季節の水引を選ぶ 67

梅・桃・桜の違いを知って結ぶ 79

